

# お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

## 安全のために必ずお守りください

### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
結びつく可能性があるもの

	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 必ず三菱電機照明製ランプを使用する。 (火災・感電・落下的原因)
	器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因) 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

### 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・  
家財などの損害に結びつくもの

	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の 資格が必要です。 (火災・感電の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)

	光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)
--	---------------------------

	●照明器具には寿命があります。 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部 の劣化が進行しています。点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
--	---

## 器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。

## ランプ交換・器具の清掃

	電源ON状態でランプ交換を行わないでください。 保護動作にてランプが点灯しない場合があります。 その際は、入れなおしてください。
--	--

	適合ランプ LDL40S・N/31/35・N2 LDL40S・L/31/30・N2 LDL40S・N/23/25・N2 LDL40S・L/23/22・N2 LDL40S・N/18/20・N2
--	--

	三菱電機照明製ランプを使用してください。
--	----------------------

	器具のお手入れについて 器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤に つけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が 残らないようよくしぼった水拭き用の 柔らかい布で仕上げてください。シンナー、ベンジン、 みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは 使用しないでください。
--	---

	<器具のお手入れについて> ランプカバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等 柔らかい布で拭いてください。
--	---

	点灯中及び消灯直後の器具には触らない (高温のためやけどの原因)
--	-------------------------------------

## 保証について

1. 保証について  
この商品の保証期間は1年です。但し、消耗品は除きます。  
詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外  
24時間連続使用点灯など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2. 保証書について  
保証書が必要な場合は、「CSセンター」までお申し出ください。  
3. 補修用性能部品の保有期間  
弊社は、照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3. 警告  
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)

商品についてのご相談  
照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。  
CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間(月~金曜) 9:00 ~ 17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

この説明書は、再生紙を使用しています。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F



# DAIKO 取扱説明書

保存用

■形名 DBL-4468WW/YW 35.25.20

■仕様

型番	DBL-4468WW 35	DBL-4468YW 35	DBL-4468WW 25	DBL-4468YW 25	DBL-4468WW 20
定格	AC100 - 242V				
周波数	50 / 60Hz 兼用				
電源接続		端子台(送り可)(最大20A)			
適合ランプ(別梱包)	LDL40S・N/31/35・N2 ×2灯	LDL40S・L/31/30・N2 ×2灯	LDL40S・N/23/25・N2 ×2灯	LDL40S・L/23/22・N2 ×2灯	LDL40S・N/18/20・N2 ×2灯
電圧(V)	100	200	242	100	200
消費電力(W)	65	63	63	51	50
入力電流(A)	0.66	0.33	0.28	0.52	0.26
	100	200	242	100	200

## 施工者さまへ

### 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、

△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わない  
でください。

必ず指示に従い  
行ってください。

### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
結びつく可能性があるもの

	引火する危険のある霧団気で使わない。(ガソリン・ 可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある 所で使わない)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)

	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

### 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または  
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	高温(35°Cを超える)、高湿(85%RHを超える)、 粉じん、油煙の多い場所、腐食性ガスの出る場所、 強い振動・衝撃のある場所で使わない。 (落とし・感電・火災の原因)
	天井直付専用器具です。傾斜天井、補強のない天井 には取付けない。

	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災 の原因)

	直射日光の当たる場所で使用しない。 (変色・変形・火災の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には 取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落としの原因)

	一般屋内用器具です。屋外、水気・湿気のある場所 (例:トイレ・厨房・脱衣所など)、及び軒下、 屋外通路、アーケードなどの雨線内では使用しない。 (火災・感電の原因)
	5°C以下の低温域で使用しない。 (結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因)

	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格 電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの 短寿命、故障となります。(火災・感電の原因)
--	--

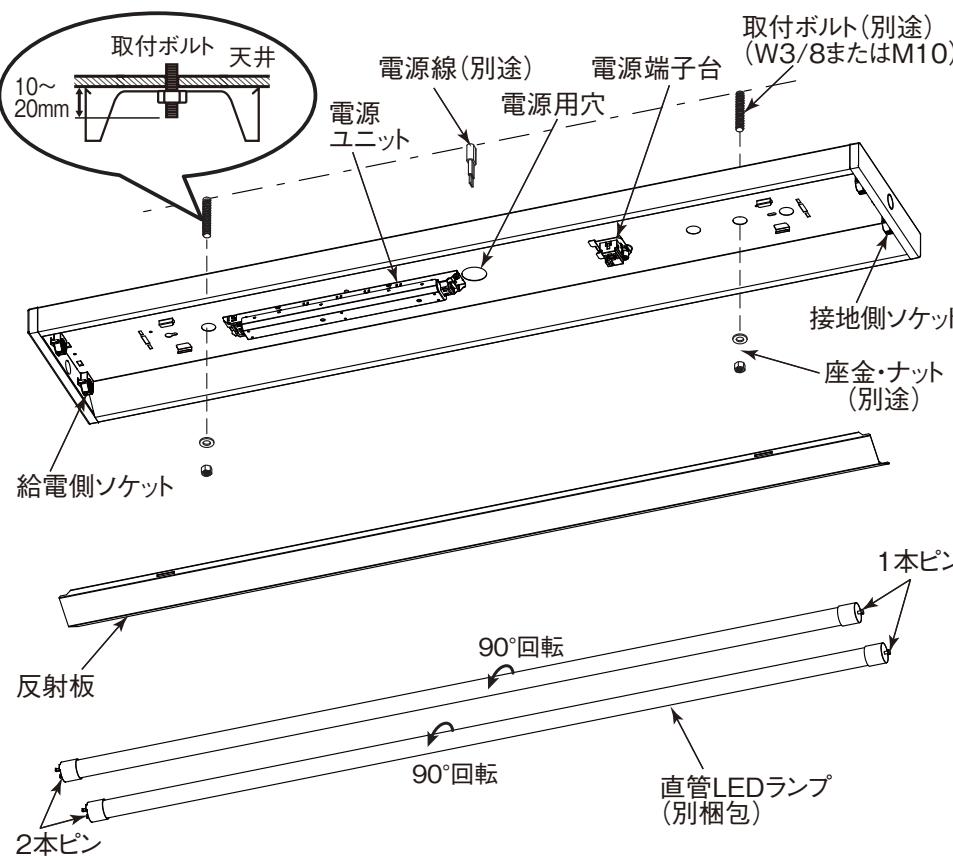
	必ず三菱電機照明製ランプを使用する。 (器具短寿命の原因)
--	----------------------------------

## お願い

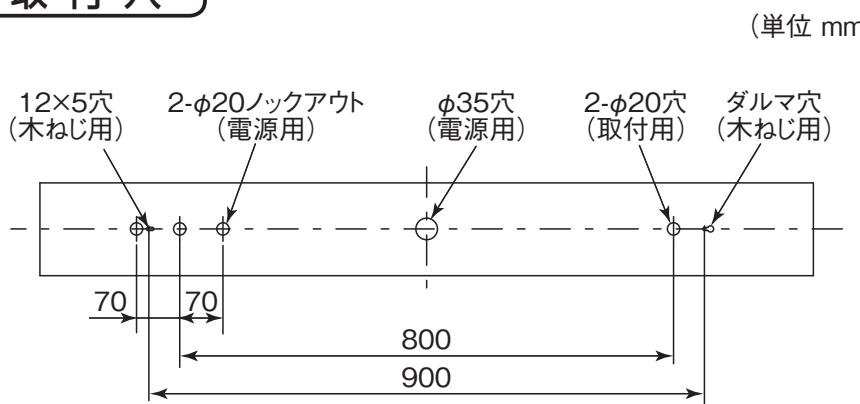
■周囲温度は5~35

## 各部のなまえと取付けかた

△警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



## 取付穴



## 1 取付前の確認

○器具質量(約3.8kg)に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。

- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
- ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用する。

## △警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける  
(落下の原因)

## 2 器具本体を取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

## △警告

取付けが不完全な場合落下の原因

## 3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

## △警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

## △警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

< D 種 (第3種) 接地工事が必要です。>

- 電源端子台の容量は 20A です

- 適合電線: ϕ 1.6mm 単線 ϕ 2.0mm 単線

## △警告

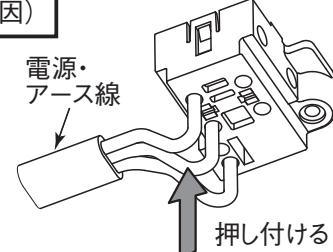
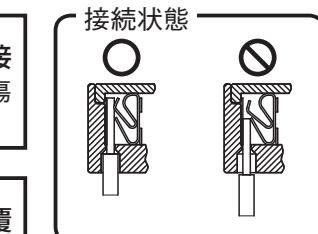
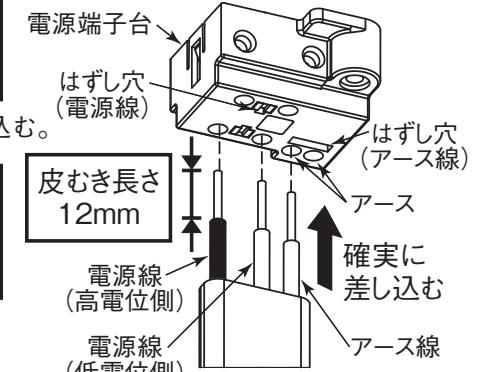
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

## △警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

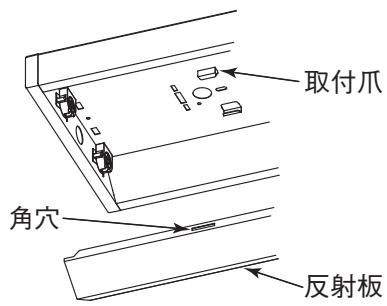
- (3) 電源線（アース線）の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押しつけるように小さく曲げる。

- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はすし穴にまっすぐに差し込んでください。



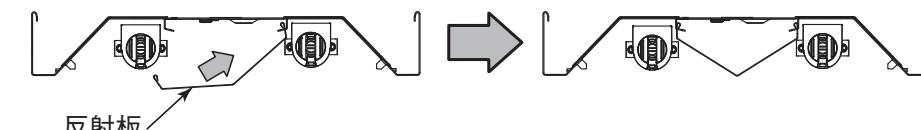
## 4 反射板を取付ける

○反射板の角穴を本体の取付爪に片側2ヶ所を引っ掛け、反射板をつまみながら、もう一方の角穴を取付爪にはめこむ。



## △警告

反射板取付けの際は電線をはさまない  
(絶縁不良により感電・火災の原因)



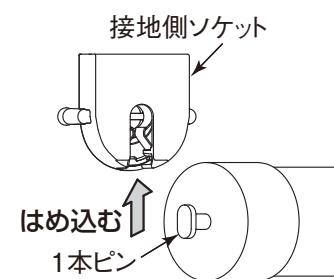
○反射板取付後、下に引下げ、確実に取付いていることを確認する。

## △注意

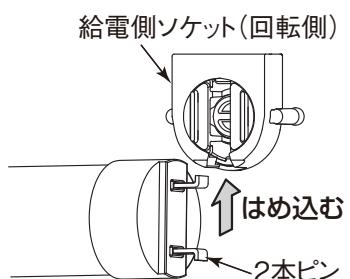
取付けが不完全な場合落下の原因

## 5 ランプを確実に取付ける

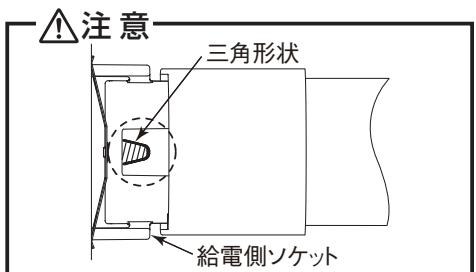
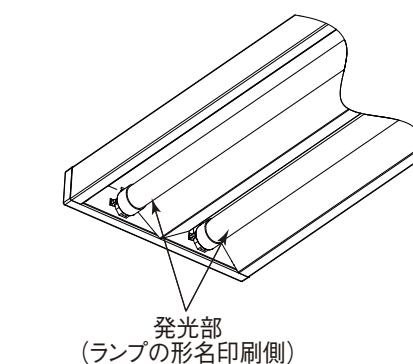
- (1) 接地側（ランプ1本ピン）を取付ける。



- (2) 給電側（ランプ2本ピン）を取付ける。



- (3) ランプの発光部が照射方向となるように90度回転させ確実に取付ける。



給電側ソケット内部の三角形状が直下にくるよう90度回転させて取付ける

△注意  
取付けが不完全な場合落下の原因